

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1199
施設名	このはな保育園
施設所在地	小平市花小金井7-27-1
法人名	社会福祉法人小松福社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

電 車

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
線路沿いの保育園ということもあり、電車は身近な存在であるから。

2. 活動スケジュール

散歩コースに花小金井駅を入れる
電車の図鑑や写真を用意する
再現遊びに備えて材料を用意する

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) 図
鑑、タブレット、段ボール、段ボールカッター、はさみ、色鉛筆、折り紙、絵の具、筆、ク
レヨン、マジック、カラー粘着テープ、マスキライトテープ、和紙、セロテープ、たこ糸、
ストローなど

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

散歩コースの途中に花小金井駅を入れた。駅の構内に入り、券売機や自動改札を間近に見た。帰園後、電車を作りたいという声があがり、電車づくりが始まった。作った電車と椅子を組み合わせて電車ごっこが始まり、運転士と乗客に分かれて年少児も乗り込んでいた。電車ごっこが進む中で、電車に関係するものを作っていた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

子ども同士が相談しながら、どんなものを作るか決めた。散歩で見たのは西武線だったが、京急を作りたいという話になり、リアルに再現したい思いから、図鑑やタブレットで細部を調べていた。できたものを使って、電車ごっこに発展する中で、役割から連想して切符や運転士の帽子なども作っていた。運転士、改札の係、券売機の中の人、など分担を考えていた。保育者の「カードはどこから出てきたっけ？」などの問いかけに、「もう一回見に行きたい」との声が上がり、再度散歩コースに駅を入れた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

散歩で駅に行き、電車や駅構内を見るという共通体験から、同じものを見ていることでイメージが共有されていることが、大きな活動につながったと考えた。年中、年少児も制作したいという意欲があり、年長児が教えてあげる姿がみられた。異年齢クラスなので、この体験が違う年度でも現れることが想定される。